



# 初 釜



『初釜』を行いました。『初釜』とは新年に初めて炉に釜をかけ、茶事を行うことです。凜とした気持ちで、今年初めてのお抹茶をいただきました。初めて食べる『花びら餅』を、お茶の森田先生から「花びら餅は、お正月にしか食べない貴重なものですよ」と話をしていただき、子ども達も興味津々で「おいしい〜」「きれい〜」と話をしていました。『花びら餅』をいただいた後に自分で点てたお抹茶をいただきました。最初の頃は「お抹茶が苦い」と完飲できない子どもも多かったですが、甘いお菓子の後のお抹茶を「おいしい〜」と完飲できる子ども達も増えました。お道具を間近で見たり、茶事の場所に座り体験したことが、子ども達の心に残りますように。そして、ゆめ組最後の茶道教室が終わりました。茶道教室での経験を通して、物の大切さやおもてなしの心、綺麗なものを見て綺麗と感じる心が少しずつ育ってきた子ども達。その気持ちを大切に小学校でも楽しく過ごしてほしいです。

## 今月のお花

椿



### 『花びら餅』

お正月にだけいただく  
伝統のお菓子の一つで  
柔らかいお餅に京都のお雑煮に  
見立てた白味噌の  
あんをごぼうと共に包んであるお菓子。

森田先生による『お手前』  
こころをすずめて  
お茶を点でて  
いただきました。



はなびらもちおいしい〜



茶道の用具を  
教えてもらいました

真剣に見る子ども達